

科目名	医用機器安全管理学実習						授業の種類	実習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	通年	
【授業の目的・ねらい】 医療機器安全管理学は臨床工学技士のすべての領域でもっとも基本的な医療機器の安全管理について学びます。各領域の専門的知識の範囲外で包括的に臨床での医療機器の安全について学ぶことを目的とする。											
【実務者経験】 臨床工学技士として加古川中央市民病院に勤務。臨床工学室技術長として、院内の医療機器の安全管理に従事。											
【授業全体の内容の概要】 人体の各種エネルギー反応や設備について、また医療安全の体系的な概要について把握することで、臨床での働き方となるよう、実践的な知識の習得を目指す。 また、随時授業前に確認テスト等を行う（評価には含まない）											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①各種エネルギーの安全閾値や対策、設備の安全について説明できる。 ②安全におけるシステムや関係法規等について説明できる。											
回数	講義内容										準備物(教材)
1	オリエンテーション：臨床工学技士と安全管理／医療機器に関する関係法規について										
2	各種エネルギーと生体反応との関係について理解する										
3	各種エネルギーと生体反応との関係について説明できるようになる										
4	医療電気機器の安全基準についての知識を身につける										
5	医療電気機器の安全基準について説明できるようになる										
6	中間テスト 予備日（復習 等）										
7	病院電気設備の安全基準についての基礎知識を身につける										
8	病院電気設備の安全基準について説明できるようになる										
9	医療ガスに関する安全基準についての知識を身につける										
10	医療ガスに関する安全基準について説明できるようになる										
11	システム安全について説明できるようになる										
12	中間テスト 予備日（復習 等）										
13	電磁環境について基本的知識を身につける										
14	安全管理技術を身につける										
15	洗浄・消毒・滅菌について説明できるようになる										
定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 医用機器安全管理学 第2版、篠原一彦ほか、医師薬出版株式会社											
【準備学習・時間外学習】 ・事前学習として教科書を熟読して講義に臨むこと ・事後学習として講義毎に講義内容と教科書の要点をしっかりとめ、復習を行うこと											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点で成績を評価する 中間テストを20点、定期試験を80点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する											